

山江村議会だより

# まるおか

No.66

(区の宝：第14区)



①柳野筆観音堂(筆の神様)



②淡嶋神社



③神園薬師堂



④淡島のイチイガシ(村指定天然記念物)

### 写真の説明

- ①柳野筆観音：昔から字が上達すると信仰されている。
- ②淡嶋神社：安産祈願とミニ鳥居をくぐると女性の腰から下の病に効くと言われており、参拝者が多い。
- ③神園薬師堂：1437年に建立。堂内には木造薬師如来坐像等が安置。(現在の堂は昭和57年11月全面改修)
- ④淡島のイチイガシ：球磨地方では最大級。幹周り7.9m、樹高さ30.2mで、樹齢300年は経っている。

### 目次

○平成29年第3回議会定例会報告	P2~4
○平成29年第4回議会臨時会報告	P3
○一般質問	P5~9
○議員活動の1コマ	P10
○だんだんなあ	P10

平成29年7月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

# 新農業委員8人の任命を 全会一致で可決!!

## 村長の給与の減額に関する条例を可決

平成29年第3回6月議会定例会は、7日から9日までの3日間の会期で開催された。今回提案されたものは、常任委員会（付託案件報告）2件、報告2件、承認9件、同意2件（内、人事同意1件）、変更契約1件、条例制定1件、平成29年度山江村一般会計・特別会計補正予算3件など合計21件が上程された。

7日に開会し、8日は6名の議員より一般質問、最終日の9日に、質疑・討論・表決を行なった。

3月議会定例会で提案された山江村債権管理条例の制定及び山江村営住宅条例及び山江村特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定については、常任委員会での閉会中の継続審査の結果、原案を一部修正し可決した。

承認（平成28年度山江村一般会計補正予算（第8号）～特別会計ケーブルテレビ補正予算（第4号）他5件）までの専決予算や次期の農業委員会委員については、従来の委員選挙から村長の任命による議会の同意へと変わったもので、今定例会へ提案された全委員8人とも全会一致で同意可決、また、提案された全議案を原案どおり可決決定し閉会した。

### 平成29年度 一般会計補正予算（第1号）

科 目	補正前額	補正額	計	説 明
分 担 金 及 び 負 担 金	14,663	139	14,802	農業費分担金過年度分
国 庫 支 出 金	409,125	△41,750	367,375	社会資本整備総合負担金、携帯電話等エリア整備事業補助金他
県 支 出 金	192,275	300	192,575	中山間農業モデル地区支援事業補助金
村 債	336,600	100,700	437,300	携帯電話基地局整備事業、公営住宅建設事業
歳 入 合 計	3,160,000	59,389	3,219,389	

歳 入	補正前額	補正額	計	説 明
◆予備費 (△14,244千円)				
学校管理費 (山田小修繕料) 2,400千円				
〃 (万江小修繕料) 600千円				
◆教育費 (3,752千円)				
〃 (村道新設改良工事) △26,000千円				
社会資本整備事業費 (設計委託料) △5,500千円				
◆土木費 (△31,219千円)				
職員手当等 (扶養手当) 270千円				
◆商工費 (270千円)				
林業総務費 (職員手当等) 3,710千円				
農業振興費 (中山間農業モデル事業費) 300千円				
◆農林水産業費 (4,680千円)				
保健衛生総務費 (職員手当等) 8,858千円				
◆衛生費 (8,858千円)				
保育所費 (施設補修工事請負費等) 830千円				
社会福祉総務費 (職員手当等) △2,783千円				
◆民生費 (△1,832千円)				
携帯電話基地局整備事業費 85,695千円				
移住定住推進費 (修繕料) 200千円				
まち・ひと・しごと創生対策費 800千円				
◆総務費 (89,059千円)				
職員手当等、共済費 65千円				
◆議会費 (65千円)				
歳出合計 (59,389千円)				

歳出合計(59,389千円)  
主な補正予算の内容はこんなもの!

### 平成29年度 特別会計補正予算(第1号)

会 計 別	補正前額	補正額	合 計	補正の内容
国民健康保険事業	604,000	259	604,259	システム改修委託料、第三者行為損害求償事務負担金他
介護保険事業	445,000	0	445,000	講師謝礼と介護予防サポート養成講座委託料の組換

## 平成 28 年度 一般会計・特別会計補正予算(最終の専決予算)

【単位：千円】

会計名	補正前額	補正額	合計	補正の内容
一般会計(第8号)	3,671,393	18,333	3,689,726	3月末地方揮発油譲与税等が確定したため
国民健康保険事業(第5号)	614,937	△10,630	604,307	3月末前期高齢者交付金等が確定したため
簡易水道事業(第5号)	177,474	△600	176,874	3月末水道使用料が確定したため
農業集落排水事業(第5号)	141,243	590	141,833	3月末農業集落排水施設使用料が確定したため
介護保険事業(第5号)	458,708	△18,453	440,255	3月末介護保険料等が確定したため
後期高齢者医療事業(第3号)	33,163	△1,138	32,025	3月末後期高齢者医療保険料等が確定したため
ケーブルテレビ事業(第4号)	46,256	470	46,726	3月末ケーブルテレビ使用料が確定したため

## 平成 28 年度繰越明許費(一般会計、特別会計)

【単位：千円】

事業名	事業金額	翌年度繰越額	主な内容
地方創生拠点整備交付金事業	51,800	51,800	合戦ノ峰観音堂周辺施設整備費
マイナンバーカード交付事業	854	285	個人番号カード交付金事務負担金
栗選果施設負担金	2,720	2,720	J A 球磨栗選果施設建設負担金
村道山江錦線歩道新設事業	16,250	16,250	工事設計委託料・工事請負費
村道県道下段線下之段橋下部工(A1・P1)事業	129,384	78,384	下之段橋下部工工事請負費他
村道新小山田線舗装補修事業	17,600	10,800	工事請負費
村道吐合字那川線防災事業	15,024	15,024	工事設計委託料・工事請負費
西川内地区公営住宅建設事業	75,394	42,920	工事設計監理料・工事請負費
西川内地区公営住宅ケーブルテレビ引込事業	1,390	1,390	村営住宅建設に伴うケーブルテレビ引込工事

○平成 28 年度で予算化された事業であるが、平成 29 年度中の事業として繰越し実施するもの。

## G空間とICTを利用したスマートビレッジ創出事業に取り組む

平成 29 年度第 4 回 7 月議会臨時会が 7 月 7 日に開催され、一般会計補正予算 1 件が提案され可決した。

内容は、総務省の委託事業として「防災、農業に対する現場の必要な情報が得られるシステム構築のため」に、委託先の和歌山大学等が実施するIoTサービス創出事業の実証地として、全国 5 地域の 1 つに選定された。この実証実験等に係る費用は全額委託先で負担するが、この事業を機会に山江村の将来の展望（早急な土砂災害情報、河川水位氾濫等の収集、有害鳥獣防止対策、子ども・高齢者等の見守り、農作業の効率化など）を考え、独自に希望実証研究を行う費用として、熊本大学の学生等を活用した村内の聞き取り調査、データ分析等の経費として 898 千円を計上した。



(山田小学校田に設置された水田水位センサー)

※「IoT」とは日本語では一般的に「モノのインターネット」と呼ばれています。IoTを簡単に説明すると、「身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながる」仕組みのことです。

# こんなことが決まりました

## 山江村農業委員会委員の任命

〈農業委員〉 8人

■住所：山江村大字山田丁1982

■氏名：又村 元規 さん

■住所：山江村大字山田乙2133-1

■氏名：白川 正博 さん

■住所：山江村大字万江甲106

■氏名：本田 りか さん

■住所：山江村大字万江甲822

■氏名：松本 聖司 さん

■住所：山江村大字山田丙1360

■氏名：小崎 健二 さん

■住所：山江村大字山田甲1691-2

■氏名：田上 喜三郎 さん

■住所：山江村大字山田乙1402

■氏名：簗田 和広 さん

■住所：山江村大字山田丁99-1

■氏名：淵田 和代 さん

(任期：平成 29 年 7 月 20 日～平成 32 年 7 月 19 日)

## 農業委員・推進委員の役割

### 農業委員会

#### 農業委員の役割

● 委員会に出席し審議して、最終的に合議体として決定することが主体  
(これに加えて、現場活動を行うことは可能)

● 農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定、変更

● 農地等の権利移動の許可、農用地利用集積計画の決定

● 農地転用許可に当たって、具申すべき意見の決定

● 農地等の利用の最適化の推進に関する施策について、提出する意見の決定

#### 推進委員の役割

● 担当区域において、現場活動を行う

● 推進委員として意見を述べる

● 指針を踏まえて現場活動を行う

● 推進委員として意見を述べる

● 推進委員として意見を述べる

連携

必ず推進委員の意見を聴かなければならない

推進委員に総会等への出席を求めることができる

推進委員の希望で総会等に出席することができる

連携

農地中間管理機構

連携

※今回から農地利用適正化推進委員 7 人が新設され、農業委員とは密接な関係。推進委員自らの担当区域において、担い手への農地利用の集積、集約化、遊休農地の発生防止解消等の地域における現場活動を行う。

## 山江村長の給与の減額に関する条例

職員の懲戒処分に伴い監督責任を負うために、平成29年7月1日～7月31日までの間、山江村長等の給与及び旅費に関する条例の給与月額から100分の10を減額して支給するもの。

# 村政を問う！6人が登壇！！

(一般質問)

質問順	議員氏名	質問事項	ページ
1	横谷 巡	○基幹産業である農林業振興の展望について ○地方創生拠点づくりについて	5～6ページ
2	中竹 耕一郎	○地方創生事業におけるドローン活用について ○予防接種事業について ○北朝鮮の動向について	6ページ
3	谷口 予志之	○高齢者福祉について ・高齢者福祉について ・運転免許証の自主返納者対策について	7ページ
4	西 孝恒	○税の収納率向上対策について ○小学校部活動の社会体育移行について ○学校のトイレ施設環境改善について	7～8ページ
5	立道 徹	○村有施設の管理について ○防災対策について ○公共工事について	8～9ページ
6	松本 佳久	○山江村の教育方針について	9ページ

※議会だよりは、文字数が限られているため、一般質問内容のすべてを掲載していません。  
また、各議員より提出された原稿のまま掲載しております。

## 農業の現状と課題、振興策は



横谷 巡 議員

**質問** 担い手の確保を含めた後継者対策が重要であるが、現在の農業後継者、新規就農者、地域、農業のリーダーである認定農業者の数と育成支援策は。

**答弁** 農業後継者は10戸に満たない。新規就農者は4名、認定農業者は21名である。育成支援策としては農地の取得、経営に必要な施設、機械の取得、知識習得研修会、規模拡大への支援等に対して助成をしている。青年就農者4名は国の事業として5年間、年間150万円を給付している。  
**質問** 一般農家の農地維持のために必要なトラクター購入に対する一部助成の考えはないか。

**答弁** 農家のニーズ状況など、検討課題とさせていただきたい。  
**質問** 30年度から減反廃止となるが、生産調整の目安、提示方法、また農家の不安を払拭する目安の提示はできるか。

**答弁** 農業再生協議会で米の販売需要動向を把握し、水田でどの作物をどれだけ推進するか決定、農家に情報提供し、自らの経営戦略に基づき作付する提示方法である。農家の不安については、JAと行政が一体となって情報提供していきたい。  
**質問** 今後の高齢化、担い手不足などの課題を見据え、その受け皿になる組織化等の農業振興策の考えは。

**答弁** 集落営農法人が万江地区に設立される。山田地区においても受け皿になる組織の設立を推進していきたい。  
**質問** 栗のブランド化として海外輸出戦略など商品化を積極的に発信されているが、生産量の確保と増産が先決と考えるがその対策は。

**答弁** 生産量は100トン前後を推移、一定の生産量がないとブランドとは言えない。肥料の助成を拡大するなど増産と品質向上を図っていきたい。  
**質問** 村の果樹振興費の年間予算が約880万円、今回の海外輸出戦略関係経費が約760万円である。何よりも生産現場に3年間程度、爆弾(予算増額)を投下したら効果があると思うがどうか。

**答弁** 760万円は山村活性化交付金である。フードバレー構想の中で、生産加工、パッケージ、流通の三本建てで新しい産業をつくっていく。  
**質問** 今後の営農や集落維持、農業の根幹に係るリーダーづくりの研修

# 一般質問

制度を実施する考えは。  
**答弁** 農業だけでなく福祉、教育などそれぞれの分野で人材づくりを進めていきたい。

## 合戦峰観音堂周辺整備事業の住民説明会を

**質問** 総事業費約5800万円で観音堂周辺整備事業が計画されているが、その事業概要について説明を。

**答弁** 地方創生拠点整備事業として、駐車場、物産販売所、休憩所、トイレの整備を計画している。

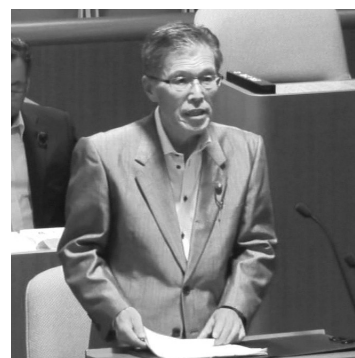
**質問** 地区においては、この事業についての説明が不十分との声が聴かれる。理解を深めるためにも説明会が必要と考えるがどうか。

**答弁** 地区説明会を6月中に開催したい。

**質問** 用地購入において、税金対策等の説明は万全であったのか。

**答弁** 税金についてはかかるということと説明した。概ね内諾いただいていると思う。

**質問** 特定地域の整備だけでなく、各地域の文化財保護の観点からも公平・バランス等は大切なことである。村全体を対象とした文化財保護整備の補助金交付要件等の制定が必要と考えるがその策定状況はどうか。  
**答弁** 保存整備事業を核とした、山江村文化財保存事業補助金交付要件を平成29年4月1日から施行した。



中竹 耕一郎 議員

## 災害時などで

### ドローン活用は？

**質問** ドローンを活用する場合どのような規制があるか。

**答弁** ドローン規制法、航空法、各自治体の条例などの規制がある。

**質問** 災害対策、土地開発、有害鳥獣被害対策等様々な使い方がありますが、地方創生に絡んで活用する考えはないか。

**答弁** 災害時の安否確認、簡易な測量等使える場面がある。技術革新が進めばドローン活用について職員の意識向上を図る。



災害現場調査等で期待されるドローン機

## 予防接種の費用対策は

**質問** 予防接種の現況、実績、その効果、全容について。

**答弁** 予防接種の種類も39項目に及ぶ。接種の通知をするが7割〜8割程度で推移している。症状の重篤化を防ぎ健康の保持に努める。

**質問** 予防接種全てで公費負担はいくらか。

**答弁** 委託料、助成金含めて約1千万程度である。

**質問** 費用対効果の観点から、発症率が減った傾向はあるのか。

**答弁** 肺炎球菌の予防接種では肺炎にかかった人の約45%の発症が抑えられた研究結果がある。

**質問** 死亡の原因として肺炎が多くなるが接種効果は5年間なのか。

**答弁** 現況では国の指針で一生に1回だけ補助される予防接種として行われている。

**質問** 予防接種の経費と医療行為によって掛かった経費等比較検討されたことはないのか。場合によっては接種補助額を増やす方法は。

**答弁** 現段階では比較検討したことはない。

**質問** 医療技術は進む。認知症の予防効果の接種情報はないか。

**答弁** 現在研究段階である。今後、国の指針に沿って導入する。

## 北朝鮮の動き、不測の事態に係る村の対応は

**質問** 北朝鮮問題に絡み上位機関を含めた対策会議はあったのか。

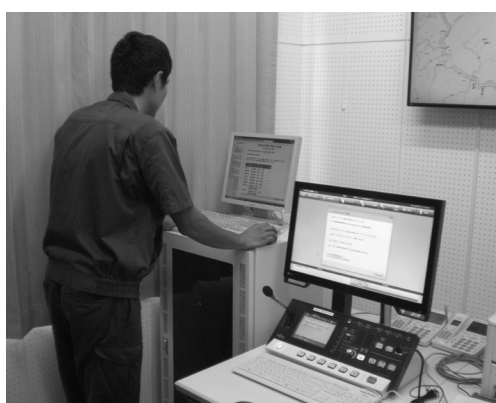
**答弁** 情勢については内閣官房から消防庁、県を通じて情報が来る。

**質問** 不測の事態の場合、村民への情報伝達はどうするのか。

**答弁** 全国瞬時警報システム（J-ARARAT）が起動し防災行政無線で強制的に屋外スピーカーにて警報、避難情報が流れる。

**質問** 村内の防災行政無線の作動状況の不具合は問題ないか。

**答弁** 逐次点検する。数分間の出来事であり避難箇所もないので素早く頑丈な屋内に逃げ込むことしかない。とにかく起こらないことを祈る。



役場内に設置されているJアラートシステム

# 一般質問



谷口 予志之 議員

## 高齢者への支援体制は

**質問** 高齢者の一人暮らし世帯、また高齢者のみの世帯の実態調査と孤立化防止対策は如何に。

**答弁** 65歳以上の独居世帯、高齢者のみ世帯を合わせると304件となっている。孤立化防止対策として基本目標の一つに、地域の福祉力を伸ばすという事で、民生委員による見守りや相談活動、社会福祉協議会等関係機関との連携、区長や地域の方による見守りネットワークの推進が取り組むべき活動として実施をしている。

**質問** 社会生活や対人関係に支障が出る認知症について、患者数等の把握と対策は

**答弁** 65歳以上で、把握している人数は154人である。対策として、たっしやかクラブなどの介護予防事業や出前福祉、にこにこ食のつどい等による外出や人との会話の機会を



楽しい料理づくり (にこにこ食のつどい)

## 運転免許証 自主返納者への対策は

**質問** 運転免許証を自主返納者数と、自主返納を促進する取り組みと高齢者運転免許証の自主返納を促進するための特典制度について。

**答弁** 11名が返納されている。運転免許返納者の特典として、まるおか号の乗車料金が半額になる。対象者は、運転経歴証明書を提示され65歳以上の方で、現在チラシを作成して周知を行っている。

**提言** 地域性を考えるとそれなりの覚悟が要る。しかし、高齢者を交通事故等から守るためには、自主返納を促進していくことも大事。まるおか号の半額になる特典を、期限付きで無料にするとか、無料の回数券を配付する等優遇措置の充実されることを提言する。



西 孝恒 議員

## 税の収納率向上と対策は

**質問** 近年の村税等、収納状況とその推移について。

**答弁** 村民税、固定資産税、軽自動車税それに国保税を加えた4つの税について収納率の推移をみると、直近の3カ年では右肩上がりに伸びている。

**質問** 更に税収納率を上げるための、納税意識の高揚につながる対策は。

**答弁** 税務課では、財源確保という職員統一目標を立て体制強化に当たっている。納税組合も維持助案し、バランスの良い納付体制や納税意識を高める取り組み等、時代に合った納付方法も要検討かと考える。

## どう変わる小学校部活動

**質問** 平成30年度からの小学校運動部活動の移行に向けた基本方針について。

**答弁** 準備委員会を設立して取り組んでいる。課題は指導者の確保、次に保護者の負担で活動費や送迎など考える必要がある。基本方針は、①村及び学校の実態に応じた体制づくり、学校体育施設の積極的活用など、②児童の発達段階に応じた活動を行う、③指導者の資質向上を図る等、3つの基本方針を柱としている。

**質問** PTAやコミュニティスクール、各関係団体の連携を含め、準備状況は。

**答弁** 検討委員会を設立して部活動の現状や課題など意見交換また保護者へのアンケートを実施し状況を把握しながら進めている。その結果本村は一年前倒しのH29年度末までに移行する方針である。

**質問** 完全移行した後、これまで学校が行ってきた作業の受け皿は。また種目の見直しは。

**答弁** 移行後の受け皿は本村の総合型スポーツクラブ「わいわいクリスポやまえ」を考えている。種目は各学校部活動種目等、参加したいニーズ調査など踏まえ、現在活動中の種目に加え、新規種目など予定している。

る。また運動が苦手な児童の対策も考えている。

**質問** 移行後の運用に必要な予算の確保について。

**答弁** H29年度予算はコーディネートの人件費、研修費、準備委員会の活動経費等、250万円を計上している。また活動組織運営の予算としては、入会者からの会費も必要となる。

## 学校トイレの洋式化

**質問** 学校トイレが抱える課題や和式、洋式、設置数など現状について。

**答弁** 山江3校全体では洋式便器率は、40.4%である。最近は家庭も洋式化になり、学校でも洋式を使用する児童生徒が多く休み時間に混雑することもある。

**質問** 学校トイレの改修予定について。また災害避難時のトイレ機能確保について。

**答弁** 先ず校舎内外のトイレ洋式化を優先し、併せて多機能トイレも設置予定である。また災害避難場所としての体育館のトイレについては、財政状況を見ながら年次計画で整備できればと思う。尚、現在予定の改修後は、洋式50基、和式41基で洋式便器率は約55%になる見込みである。

## 村有施設の管理状況は



立道 徹議員

**質問** 尾崎のヤマメ養殖場・キャンプ場の施設の現状、経営及び利用状況は。

**答弁** 山江村ヤマメ生産組合へ管理委託し、毎年管理委託契約の締結を行っており、委託費は無償で、すべて、管理・運営の経費は、ヤマメ生産組合の負担となっている。年間の収入は、数百万円程あるが施設の維持管理に相当な経費を要している。収支的には、厳しい状況である。利用状況は、人吉球磨のホテル・旅館に卸販売し、お中元・お歳暮の宅配サービス、ヤマメの塩焼きとして各種イベントに出店販売。また、オイル漬け・甘露煮等の加工品販売を行い、全国的に販売も展開されている。キャンプ場においては、老朽化が進み、いろいろな設備が故

障し、年々、利用者も少なくなり、経営的にも非常に厳しい状況である。今後、地元の方との話し合いを行い、今後の活用方法について協議していく。

**質問** 新寺の下・林田団地の耐震構造への計画または、無理ならば建て替えの考えは。

**答弁** 耐震診断等の調査、検討が今後必要であり、日常的の不便になる箇所は、補修、改善を進め、長寿命化型改善事業として整備しながら維持していく。また、個々に、日常的支障があれば、建設課に連絡頂き、現地を確認し、補修、修繕を行う。



老朽化が進む尾崎キャンプ場



# 一般質問

山江村や地球を救う教育の推進を



松本 佳久 議員

**質問** 万江地区の柚木川内橋の架け替えの計画は。

**答弁** 路線測量、地質調査等の業務は、現在、施工中の下の段橋が完了する次年度、平成31年度以降から、事業着手を考えている。

**質問** 村道吐合宇那川線で最近、道路陥没が多いが今後どのように対処されるか。

**答弁** 突発的な陥没、亀裂、崩壊など大掛かりな補修を要する場合は、山江村災害時支援活動に関する協定から村内の建設業と行政区別に担当割りをしており、復旧作業を行うようにしている。また、大雨等による災害で壊れた時は、災害復旧工事において対応していく。

**質問** 平成25年にOECDが世界34か国を調査した「国際教員指導環境調査」では、教員の労働時間が調査国平均で1週間38.3時間、日本は断トツの53.9時間。先生方が働きすぎなら子どもたちは幸せになれないが、山江村ではどのような状況か？

**答弁** (教育長) 平成28年度に文部科学省が調査した全国教員勤務実態調査では、小学校教諭の1週間平均労働時間は57時間25分、中学校は63時間18分。山江村では小学校48時間26分、中学校53時間18分。これは山江村の創意工夫による成果で、ICT機器の導入による事務の合理化では、①通知表・出席簿等のICTシステム化、②シンククライアント方式による自宅での校務作業等で時間に余裕を生み出し、子ども達と触れ合う時間が増加。教員の労働時間管理は、各学校の自分のパソコンの開始・終了で計測し、月間累計の報告を受けている。昨年、文部科学省から「学校現場の業務の適正化に向けて」の通知が届き、今後の教職員の在り方や業務改善の解決策として、①長時間労働の見直し、②部活動の負担軽減、③ICT活用による業務改善、④労働安全体制の見直しを検討中。山江村学校職員安全衛生管理規定を本年4月に改正し、各学校に労働安全

を推進する衛生委員会を設置して、教育長が統括安全衛生管理者となった。

**質問** 村長、教育長は、理想の教育とはどのようなものと考えているか？

**答弁** (教育長) 第1に子どもたちの安全・安心が守られる学校、次に学力向上、教員の指導力向上が大事。英語教育にも力を入れ、グローバルな人材を育成し、将来は日本や世界各地で活躍する人材を育てたい。

**答弁** (村長) 教育行政をしつかりと支援するのが私の立場。今は第4次産業革命の時代で人工知能将棋がプロの棋士に勝つ時代。元慶応大学塾長の安西先生は「現代は江戸時代の寺子屋から明治の近代教育への転換期と同じ大変革期」と提言されている。世界で活躍できる人材の育成にも力を入れ、山江村に残り農業や林業に従事する人材の育成も進める。いつの世にも大事な事は家庭教育であり、家庭を基本に学校や地域が皆で子ども達を育てていく村を目指す。

**提案** 山江村も世界も知る子ども達の育成に賛成する。昨年、全国で生まれた赤ちゃんは100万人を割ったが、生まれた子ども達を皆で大切に育てよう!!

## 議会を傍聴してみませんか。

村民の皆様には、議会傍聴(議場)にぜひ参加いただき、ご意見等をお聞かせ下さい。定例会の日程等の問い合わせは、議会事務局までお願いします。 TEL:23-3401

お知らせ  
.. ..  
次回の議会定例会は  
9月 開催です。



## 「議員活動の1コマ」

議会常任委員会合同研修では5月23日に、あさぎり町松尾地区、球磨村内布地区の鳥獣被害防止対策（ワイヤーメッシュ柵、電気柵設置）の現地研修を行った。特に松尾地区においては、集落一帯をワイヤーメッシュ柵（金網）で囲み地域全体で鳥獣から農作物を守る取り組みについて、遠山代表より説明を受けた。また、6月定例議会後には、毎年実施している高速道路法面（上下線）の村章マーク（樹木：ツツジ）の下刈り作業を行った。

7月21日には、山江村地域づくり研究所と初めての意見交換会として、東京大学大学院情報学環の須藤教授から、「AI（人工知能）時代の地域雇用を考える」をテーマに最先端技術の情報提供を受け、今後の山江村での活用について意見交換を行った。



鳥獣被害防止柵（ワイヤーメッシュ柵等）あさぎり町松尾地区



高速道路法面のツツジ（村章マーク）の下刈り



東京大学須藤教授からAI（人工知能）の説明



だんだんなあ

暑中お見舞い申し上げます。たいへん暑い日が続いています。今年も、7月5・6日に福岡・大分県を襲った九州北部豪雨。これまでに経験のない降水量、時間雨量129.5ミリ、この大規模な災害気象要因は、台風3号及び活発な梅雨前線による集中豪雨と言われ、「線状降水帯」という聞きなれない用語は、次々と発生する発達した積乱雲が列をなし、組織化した積乱雲群により、数時間同じ場所を通過または停滞し、線状に伸びる雨域と言われている。この豪雨により、土砂崩れ、河川の氾濫により、尊い生命財産が奪われました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

自然災害は、いつ発生し、起こるか分かりません。この山江村にこのような豪雨が襲ってきたらばどうなるか、一人の犠牲者を出さない為にも今後、さらに緊急連絡体制（各地区）強化が必要であり、常に防災意識を全村民が高めていくことが重要であると思う。各地区の防災避難訓練も大切な活動であり、積極的に実践してほしいです。

まだまだ、これからも暑い日が続きます。熱中症対策を十分されこの暑い夏に打ち勝ち稔りの秋にと願っています。これから、台風の季節もやってきます。この山江村はもちろん、日本の各地方に災害が発生しないようお祈り申し上げます。

（文責 立道 徹）

【議会広報編集委員】 委員長／立道 徹 副委員長／森田 俊介 委員／西 孝恒・赤坂 修